第４号様式（第５条関係）

解体届適用除外承認申請書

|  |  |
| --- | --- |
| (宛先)　京都市長 | 年　　　月　　　日 |
| 申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) | 申請者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名)  　　　　 電話　　　　　－ |

|  |  |
| --- | --- |
| 京都市京町家の保全及び継承に関する条例第１９条第１項第２号の規定による承認を申請します。 | |
| 指定の区分 | □京町家保全重点取組地区  （地区名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □重要京町家  （指定の年月日及び番号：　　年　　月　　日 第　 号） |
| 京町家の所在地 | 京都市　　　区 |
| 解体着手日 | 年　　　月　　　日 |
| 災害その他解体着手日の１年前までに届け出ることができないやむを得ない理由 | □　震災、風水害、火災その他これらに類する災害により、京町家が通常の修繕によっては原状回復が困難な損壊を受けたため  □　指定を受けるより前に、京町家の解体に係る請負契約が成立していたため  □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 希望する支援内容 | □　維持管理、修繕及び改修の支援  □　活用の支援  （希望する活用方法）  　　□賃貸住宅　□店舗　□宿泊施設  　　□その他（　　　　　　　　　）  □　継承希望者との媒介の支援  □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 事業者及び市民活動団体等に対する情報の提供 | □　事業者及び市民活動団体等に対して、申請に係る京町家に関する情報を提供することに同意します。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | |  |
| 敷  地 | 権利の種類 | □　所有権（申請者以外の所有者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □　借地権 |
| 地積 | 平方メートル |
| 京町家の概要 | 申請者以外の所有者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） |  |
| 建築時期 |  |
| 規模 | 建築面積（　　　　　　　）平方メートル  延べ床面積（　　　　　　　）平方メートル |
| 現在の用途 | □申請者の住居　□申請者以外の所有者の住居　□借家  □店舗（　　　　　　）□空き家　□その他（　　　　　　） |
| 他の制度による指定等の有無 | □有（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □無 |
| 都市生活の中から生み出された形態又は意匠 | □平入りの屋根　□３以下の階数　□一戸建て又は長屋建て  □隣地に接する外壁又は高塀　□通り庭　□火袋  □坪庭又は奥庭　□通り　□格子 |
| 備考 |  |
| ※受付番号 | | 年　　　月　　　日　　第　　　　　　　号 |

注１　該当する□には、レ印を記入してください。

　２　「事業者」とは、本市の区域内において不動産業又は建設業を営む者をいいます。

　３　「市民活動団体等」とは、京町家の保全及び継承に関わる市民活動団体（ボランティア活動その他の公益的な活動を行うことを目的として市民が組織する団体をいう。）その他の団体をいいます。

　４　「通り庭」とは、道に面した出入口から続く細長い形状の土間をいいます。

　５　「火袋」とは、細長い形状の吹き抜け部分をいいます。

　６　「通り」とは、道に沿って設けられた軒をいいます。

　７　「格子」は、伝統的な様式によるものに限ります。

　８　※印の欄は、記入しないでください。

　９　この申請書には、災害その他やむを得ない理由があることを証する書面を添付してください。